

日本 420 協会・レガッタ開催指針

2020 年 12 月 26 日制定

420 級の普及と発展（選手強化）の観点から、日本 420 協会はこのレガッタ開催指針を下表に掲げたレガッタに適用します。

1 レガッタ開催の基本的な考え方

- (1) 全日本、東日本、西日本の各選手権大会はチャンピオンシップとして、世界選手権で上位入賞を目指す選手を選考するレガッタのクオリティを維持する。
- (2) 日本 420 協会が公認する水域選手権はトレーニングレースの意味合いを持たせ、また運営役員数等、水域の実情に応じて柔軟な運営が可能な大会とする。加えて、420 協会からの情報発信・水域内指導者の情報交換の場としての役割を期待する。

2 レガッタ開催指針

	原則 開催時期	開催地	申請 期日	主催/公認	最低 レース数	ターゲット タイム	日本代表 選考
全日本選手権	12 月	公募 注 1)	前年度 9 月	主催	3 レース	40～50 分	○
東日本選手権	10 月～3 月	葉山・津・関上 注 2)	前年度 9 月	主催	3 レース	40～50 分	○
西日本選手権	10 月～3 月	福岡・光・大分 注 2)	前年度 9 月	主催	3 レース	40～50 分	○
各水域選手権	任意	水域理事の推薦 場所	—	公認	任意	任意	—

注1) 東日本・西日本での隔年開催となる開催地を優先する。(東日本／北海道・東北・関東・東海、西日本／近畿・北信越・中国・四国・九州)

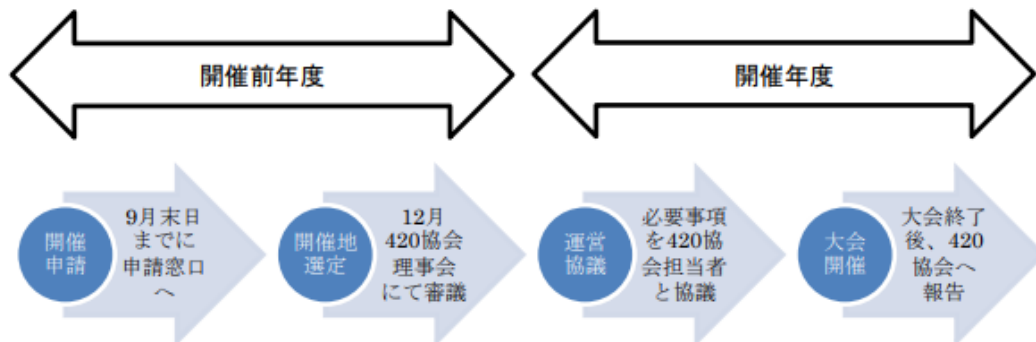
注2) 注 2)開催希望地がある場合は、別途協議する。

3 公募（申請）および開催地決定について

- (1) 上記表中の申請期日までに申請すること。
- (2) 前年度 12 月に開催される日本 420 協会理事会にて決定し、発表する。
- (3) 申請窓口 ※ [at] を@に替えてください

		連絡先(メールアドレス)
全日本選手権	伊藤嘉理事	ito-yo849[at]td.myswan.ed.jp
東日本選手権	伊藤嘉理事	ito-yo849[at]td.myswan.ed.jp
西日本選手権	伊藤秀理事	jpn160264[at]gmail.com

(4) 開催地決定までの流れ（全日本・東日本・西日本）



(5) 開催要件（全日本・東日本・西日本）

- ① 日本 420 協会との共同主催とすること。
- ② 日本 420 協会が指定する担当者と密に連携をとること。
- ③ 大会会計は申請団体による独立会計とすること。
- ④ 大会役員（計測委員含む）の確保は申請団体によりおこなうこと。ただし、全日本選手権の計測委員長については日本 420 協会派遣役員とすること（派遣旅費については日本 420 協会が負担します）。
- ⑤ 開催期間は土・日・祝日など、ユースセーラーの参加しやすい日程とすること。全日本選手権については、原則、高等学校の冬期休業中とすること。
- ⑥ 大会参加料については、ユースセーラーに過大な負担とならない金額に設定すること。NOR 公示以前に日本 420 協会の承諾を得ること。
- ⑦ 可能な限りチャーター艇を用意すること（全日本選手権の開催地決定においては重要な要件となります）。
- ⑧ 全日本選手権においては、艇・セールの計測を実施すること。
- ⑨ その他、本指針の趣旨を十分に配慮した大会運営をおこなうこと。